

松中 PRIDE を胸に



学校教育目標

# 松江中だより

草加市立松江中学校  
第1号

令和6年4月8日発行

まつえ

学ぶ意欲のある生徒（知：かしこさ）  
強い心と体をもつ生徒（徳・体：たくましさ）  
笑顔あふれる生徒（和・輪：あたたかさ）

今年度40周年

## 『物事は考え方次第』

129名の新1年生を迎え、全校生徒418名で令和6年度の松江中学校がスタートします。新1年生の皆さん、入学おめでとう。新2年生・新3年生の皆さん、進級おめでとう。入学、進級という大きな節目を迎え、気持ちを新たに、しっかりと顔を上げ、この4月を迎えたことと思います。特に新3年生の皆さんは、1年後に自分はどのような姿になりたいと思いつているのでしょうか。今から1年後の話をするのは少々気の早い感じかもしれませんが、日々の積み重ねによって、その日が来ますので、新2年生、新1年生の皆さんも同じですが、今を大切に、顔を上げ歩み続けてほしいと思います。今年度も右にある『松中PRIDE』を全校で大切にしながら前進していきましょう。

### 松中PRIDE

～ I LOVE MATSUE J.H.S. ～

1. 「ありがとう」「ごめんなさい」を言います【感謝】
2. 「いじめ」をしません【敬愛】
3. 心をこめて接します【礼儀】
4. 卑怯な振る舞いをしません【正義】
5. 我慢をします【自律】
6. 夢に向かって頑張ります【努力】

さて、年度のスタートにあたり、次のことを心に留めておいてほしいと思います。それは「物事に対する考え方は一つだけでなく、いくつもある」ということです。つまり「物事は考え方次第」ということです。よく「自分で考え判断し…」と耳にしますが、まずは自分で考えることは何よりも大切なことです。どう考えるかによって、前向きになれるか勇気が湧いてきたりすることや、反対に落ち込んだりやる気をなくしたりすることがあります。どうせなら前向きになれるような考え方をした方がよいと誰もが思うはずです。

今や世界中で知らない人はいないだろうと思うほどの大活躍を続けるメジャーリーガーの大谷翔平選手の『試合中でもベンチでもグラウンドにゴミが落ちているとそのゴミを拾う』という話はあまりにも有名です。実際の映像でも観たことがある方も多いと思います。大谷選手は「ゴミ拾い」について、「ゴミは人が落とした運。ゴミを拾うことで運を拾う。そして自分自身にツキを呼び込む。」と考えて行動しているそうです。ゴミを拾っていることが、本当にツキを呼び寄せているかは誰にもわかりませんが、そのように考えることで、自分自身の心が整い、前向きな気持ちでいられることに大谷選手は価値を見いだしているのではないかと思います。

令和6年度の学校生活が始まりますが、授業中はもちろんのこと、さまざまな活動にはきちんと意味があります。それら一つ一つを自分自身がどう考え行動するかによって、右にも行くし左にも行きます。中学校を卒業する時には、自分自身で進路実現をさせていかなければなりません。自分でしっかりと考えて行動する日々の積み重ねそのものが自分づくりです。一步一步確かな歩みとなるよう頑張ってください。応援しています。

今年度は、本校創立40周年目となる節目の年です。歴史ある松江中学校において、418名の生徒の皆さんと私たち教職員、そして、保護者・地域の皆様の協力をいただきながら、明るく健康でいきいきとした学校生活を充実したものにしていきたいと思います。

皆さんにとって大きく飛躍する1年になることを心から願っています。

最後に……

保護者、地域の皆様、今年度も、本校への深いご理解とご支援・ご協力の程をお願い申し上げます。新年度最初のあいさつとして、ここに学校だよりを発行いたします。

「家庭で慈しみ・学校で教え・地域で育む」